

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日： 年 月 日

事業所名： 放課後クラブぴのきお かわの

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
 評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	0	6	1	・利用人数によっては部屋数が足りなかったり、狭いと感じる時がある。 ・プレイルームの他にある多目的に使用出来る部屋を活用している。	30	7	0	3	・各部屋を有効に使用し、スペースの確保を行っている。今後も対応を検討していく。
	2 職員の適切な配置	1	5	1	・常にぎりぎりの状態なので、余裕が持てるくらいの人数配置にしてほしい。 ・その時の利用人数によっては適切。	31	1	0	8	・利用児童に合わせて、職員を配置するよう対応している。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	2	2	3	・バリアフリー化はされていない。 ・車いすを利用する人は、利用が出来ない。 ・玄関の段差、洗面所、トイレ等が必要。	30	4	1	5	・バリアフリー化は出来ていない気がする。 ・必要な児童に対しては、検討し対応していく。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	1	3	3	・トイレのドアが開きづらくなる事があり、修理が必要。 ・職員全員がもっと目を向けていく必要がある。	38	1	0	1	・玩具の消毒や心地良さ等の対応を常に心掛けている。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	6	1	0	・全職員に対して理解周知し、参画していく。	/	/	/	/	
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	4	1	2	・外部評価は行われていないと思う。	/	/	/	/	
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	5	2	0	・研修の機会は確保出来ていても、今回のコロナの影響で、実施されていないのが現状である。	/	/	/	/	
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	7	0	0		40	0	0	0	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	7	0	0		38	1	0	1	・定期的にあセスメントを行い、保護者や児童の思いを具体的に盛り込む計画の立案や設定を心掛けている。
	3 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	7	0	0		/	/	/	/	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
適切な支援の提供（続き）	4	6	1	0	・今以上にもっと外部(地域)との交流の場や機会を増やしていくべきだと思う。	38	1	0	1	・常に個々の計画に沿った支援に努めていく。	
	5	7	0	0		/	/	/	/		
	6	6	1	0	・常に児童が興味/関心を持って取り組めるよう、新しい事も取り入れる等工夫をしている。	33	3	0	4	・色々な活動に挑戦出来るプログラムを提供していく。	
	7	6	1	0	・当日個々の児童に合わせて提供している。もっと多くの課題方法を増やす必要があると思う。	/	/	/	/		
	8	4	2	1	・朝礼夕礼時に確認している。 ・出来ていない事があり、今後気を付けていく。 ・役割分担そのものが確立されていないと感じる。1日毎に今以上に密に分担決めの必要があると感じる。	/	/	/	/		
	9	7	0	0		/	/	/	/		
	10	7	0	0		/	/	/	/		
	11	7	0	0		/	/	/	/		
	関係機関との連携	1	6	1	0	・児童発達支援管理責任者及び、主任支援員が参加するようにしている。	/	/	/	/	
		2	2	2	3	・重症心身障害児に関しては、保護者との連絡や情報共有を主に行っている。しかし、関係機関とは十分ではないと思う。	/	/	/	/	

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
関係機関との連携（続き）	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	2	2	3	・重症心身障害児に関しては、保護者との連絡や情報共有を主に行っている。しかし、関係機関とは十分ではないと思う。						
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	6	1	0	・担当者会議等に参加し、情報共有している。						
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	6	1	0	・モニタリングや担当者会議にて、情報共有する事を心掛けている。						
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	6	1	0	・研修等があれば、受講するようにしている。						
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供	0	1	6	・児童の利用時間と合わないと思う。 ・コロナウイルスの事もあり、現状難しいが、今後は交流活動等も取り入れていきたい。	9	7	4	20		・現時点での交流は難しい。今後も継続して検討を行っていく。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	0	3	4	・地域の人を招待するイベントは行っていない。しかし、地域清掃と一緒に、挨拶は欠かさないようにしている。 ・コロナウイルスの事もあり、現状難しいが、今後は交流活動等も取り入れていきたい。						
保護者への説明責任・連携支援	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	7	0	0		36	2	0	2		・今後も継続して、丁寧な説明が出来るように努めていく。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	7	0	0		38	2	0	0		
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	4	2	1	・ペアレント・トレーニングまでは及んでいないと思う。 ・	17	8	4	11	・本人が家庭外での問題行動があまりなく、家庭での困り感が伝わりにくい為、適切な助言を受けにくい。 ・いつも親切に対応してくれている	・日々の報告を行うことで情報の共有ができるように努めているが、ペアレントトレーニングを行うことまでは至っていない。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
保護者への説明責任・連携支援（続き）	4	7	0	0		36	2	0	2	・職員と話しをする時間が限られている為、十分ではない。	・送迎時等、コミュニケーションの時間を大切にしている。常に情報共有を行う事が出来るように努めていく。
	5	5	2	0	・相談される事が少ない。	32	6	0	2	・本人が家庭外での問題行動があまりなく、家庭での困り感が伝わりにくい為、適切な助言を受けにくい。	・常に話しやすい環境作りが出来るように努めている。
	6	1	5	1	・年に1回、保護者会は開催しているが、その時の利用者での交流となっている。もう少し回数を増やしていけたらと思う。	8	4	10	18	・保護者同士の交流の場が無い。	・現時点での保護者会開催は難しい。今後も継続して、参加型の保護者会を検討している。
	7	7	0	0		21	1	0	18	・苦情等で個人情報の事柄は仕方ないが、通知していた方がいい事は、発信出来るならしてほしい。	・その都度、職員と話し合いを行い改善に努めている。
	8	7	0	0		36	0	0	4		・ノートや電話連絡、送迎時でのコミュニケーションを図り、今後も情報共有が出来るように努めていく。
	9	7	0	0		35	1	0	4		・毎月ホームページの更新や通信(活動予定表/活動報告)を配布し、情報を発信している。今後も継続していく。
	10	7	0	0		36	2	0	2		・個人情報書類の取り扱いに関しては、十分に気を付けている。
非常時等の対応	1	4	3	0	・周知しているものとそうでないものがある。	26	3	2	9		・保護者への周知は行う事が出来ていない。周知出来るよう方法を検討していく。
	2	6	1	0	・定期的に行っている。	23	2	0	15	・防災や避難、自分の身の守り方等、防災週間やイベント等の実施だけでなく、月に1～2回等もう少し頻度を多くしてもいいかもと思う。	・年2回以上の訓練の実施は行っている。実施回数に関しても検討していく必要がある。また、引き渡し訓練等は実施に至っていない為、今後の課題として検討を行っていく。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた 改善内容・改善目標	
		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
非常時等の 対応（ 続き）	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	7	0	0							
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明・了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	7	0	0							
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	6	1	0	・指示書はないが、保護者から聞いた物は提供しないようにしている。						
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	7	0	0							

